

支部だより

令和2年1月
第82号

新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては穏やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

支部では限られた予算のなかで公益社団法人として活動を続けています。昨年は、青年部による恒例の奉仕活動や2級建築士試験講習会、前年度から加わった尾上公民館事業のお手伝い、また、有志の方に地域で増え続ける空き家問題についての協議会に参加して頂きました。皆様も平素の業務の中で地域活性化に寄与されるべく努力されたことと感謝いたします。

昨今、NHKを始め日本メディアの報道は、井の中の蛙と申しましょうか、家庭内のゴタゴタを扱っているような風体で、親たちの都合で話題が進んでいるように思います。子供たちは事態の異常を感じてはいるが、あめ玉を口に放り込まれて、喋られないといった具合ではないでしょうか。親たちは私欲が勝ってしまって、子供たちの見つけた宝物すら吸い上げるのが日常となっていると感じます。もはや、親たちのお話は半分が正しいのでしょうか。

さて、経済的に苦しい事態にある我々ですが、マンパワーさえ整えば何だって出来るという小西支部長の励ましの下、本年度も事業を展開していきたいと思っています。街は相変わらずシャッター色の様相を呈していますが、表に出て歩けば出会いが喜びを生んでいます。お金があってもなくても“繋がり”は人々の救いの場となっています。

本年も、研修会や懇親会など皆様の出会う機会に、笑顔が咲き乱れるようお願い、活動を続けていきますので是非ご参加、ご支援、お引立てを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

(副支部長 吉備考司)

県指定文化財斑鳩寺庫裏保存修理 工事見学会のご案内

斑鳩寺は聖徳太子が開かれた寺とされ、鶴林寺と並び古刹です。境内の北側に江戸時代前期の大規模な庫裏が現存しており、県内でも最古の庫裏と思われます。築後370年が建ち、破損が激しくなったため、庫裏全体を覆う素屋根を設置し、平成28年から5年間の予定で文化財修理工事が実施されています。現在は解体工事が終了し、組立工事が行われています。解体工事と並行して、変遷や技法などの文化財調査も行われています。

加古川支部では、今回の修復工事に直接携わっておられる神戸建築文化財研究所の尾瀬様に文化財修復工事の現場を案内していただき、江戸前期からの庫裏の変遷について解説をしていただく機会を設けました。興味のある方、是非ご参加ください。お待ちしております。

記

1. 開催日 令和2年1月19日(日曜日)
14時から
2. 集合場所 斑鳩寺境内駐車場
(揖保郡太子町鵜709)
現地集合解散当日の駐車場が分かる境内の案内図を希望者にメールいたします。
3. 参加費 500円
4. 申込先及び問合せ先(参加申込書あり)
小西(090-7889-2626)
E-mail: akitaka2yuuki3@leto.eonet.ne.jp
尚、当日参加も可能です。

「新年会&新春ボーリング大会」 のお知らせ

今年もやってまいりました、令和最初のボーリング大会&新年会。今年も豪華景品を多数御用意させて戴いておりますので奮って、御参加の方宜しくお願い致します。
(厚生委員会)

- 日時： 令和2年2月1日(土)
17:30より 受付
17:45 ゲーム開始
19:15 新年会開宴
宴会余興 ビンゴゲーム
豪華景品多数
- 会場： 「ニッケパークボウル」
加古川市加古川町寺家町269-1
Tel (079) 427-8900
- 新年会： 「海鮮水産 加古川南口店」
(JR加古川駅より徒歩1分)
加古川市加古川町篠原町67-1
Tel (079) 456-6821
- 参加費： 新春ボーリング大会 1,000円
新年会 4,500円
(非会員は実費となります)
- 当日連絡先 長尾 淳一 090-9216-2695
080-8327-3880
- 令和2年1月25日(土)までに
参加申込書により申込みをお願いします。

ぎふ見学会

秋の紅葉が香る 10 月 26・27 日に岐阜県多治見市、岐阜市、犬山市を見学しました。多治見焼きのモザイクタイルミュージアム「藤森照信」氏を中心に、公設民営の建材博物館の設計が始まり、世界中のタイルを活用した物件を検討。中でもガウディのタイル使いを理想とし、彫刻的造形能力から笠原町のタイル→焼き物→土へと、そんな連想で土を削った面に土器や小石が露出する発掘現場や土取場の光景をイメージし、2016 年 6 月完成より女性のモザイクタイルを宝石に通ずる質を感じているのか、インスタ映え効果か見学者の勢いは絶えない。

引き続き、岐阜市新庁舎のバカでかい鉄骨の様相が 10 階まで組みあがったのを眼前に、みんなの森 ぎふメディアコスモス「伊藤豊雄」氏設計の 2 階建て大規模複合施設です。岐阜市長が同設計の「せんだいメディアテーク」を見学し「岐阜にもこんな施設が必要だ」との構想から 2 階の開架閲覧エリアは、波打つ木造の天井で覆われた空間で、床の輻射冷房と温度を抑えた空調により、わずかに感じる風が心地よくグローブの真上の可動トップライトを開ければ、足元の空気が天井へ流れていく。「小さな家」から「グローブ」へ。図書館長には岩手で県立図書館などを立ち上げた吉成信夫氏いわく、「図書館であっても心と体を開放できることが大切」と。構造は RC 造と S 造、木造の混構造。シェルの下部に型枠支保工の要領で仮構台を設置し、上部に @600mm でシェル構造「地元のヒノキの汎用材を現場で張り合わせ厚み高さが 920mm にも達する」複雑な現象を単純なルールでつくる。230 人収容のホールを併設し市民活動発表の場としフル活動中！泊りは落ち着いた佇まいの「長良川ホテルパーク」長良川演歌でおなじみ、眼前に鵜飼の船宿、直上に岐阜城を見上げ、織田信長の壮大なスケールを歴史と共に自然と文化を体感しました。最後は明治村です。京都市電でガタンゴトン、村内ガイドさんの元、帝国ホテル中央玄関・聖ザビエル天主堂等 5 丁目から 3 丁目まで踏破出来、とても満足でした。明治時代の全国の貴重な歴史的建造物の永続的な保存のため、ここに集約されており構造・意匠等非常に考えさせられました。

次回の見学会を楽しみに、研修委員会ご関係の皆様にはお世話になりました。

(副支部長 坂上 浩司)

「つながろうプロジェクト in 北播磨」に参加して

11 月 9 日(土)、本部企画の「つながろうプロジェクト in 北播磨」に参加しました。

つながろうプロジェクトは、とにかく支部単位の活動がメインで支部の枠を超えた会員交流が希薄

となっていることを解消しようとはじめられた事業です。

今回が 2 回目で、明石、淡路、神戸、三田、南但、阪神、姫路、北播、加古川の 9 支部から 35 名の参加がありました。さわやかな秋晴れの日、昼食時の交流会を挟んで三木市本町の町家 3 件と小野市の浄土寺を見学しました。

浄土寺では、宮大工でもある姫路支部の西嶋支部長さんから国宝とはその時代を代表する 1 点ものであること。浄土寺浄土堂は東大寺の南大門、開山堂と同じ大仏様(天竺様)建築の代表遺構として大変貴重であることなど、その様式の特徴、ディテールの解説をしていただきました。堂内には鎌倉時代の名仏師快慶作の巨大な三尊立像が須弥壇上に立っておられ、背面の部戸からの西陽が堂内を赤く染めていました。

浄土信仰の「阿弥陀如来様が雲に乗って西方浄土からお迎えに来る」を体験されたい方は、是非、夕方、堂内に入れ阿弥陀如来様の前にお座りください。合掌。(支部長 小西 敏文)

第 38 回近畿建築祭 奈良大会 報告

11 月 30 日に奈良春日野国際フォーラム 薈において第 38 回近畿建築祭奈良大会が開催され、たくさんの建築士の方が来られていました。

会場が能楽ホールと減多に見る機会のない面白い空間で行われました。

昨年までは近建青に出向していましたので、久々に参加者として第 1 部の地域実践活動の報告を聞いていました。参加者として参加するのは楽で良いですね。

また、協賛企業ブースにおいてはスタンプラリーを行い、一定個数以上で景品が当たるなど面白い工夫も見られました。

記念式典では、今回の開催地大阪への引継ぎがあり、第 2 部の建築文化講演会は、『映画と建築』と題して、映画監督の河瀬直美氏のお話を、自分とは全く違った感性で面白く聴かせていただきました。

その後、懇親会まで参加して、久々の方々とも懐かしく過ごさせていただきました。

色々面白い話が聞けたので、こっそり周ってみたいと思います。

(青年部会部会長 阪口 晴彦)

青年部情報 (青年部会)

FORZA 開催

11 月 24 日(日)一時危ぶまれた天気にもどうか恵まれ、例年開催の若い夢フェスティバルで“ちびっこ木工体験教室”を開催しました。

オープン少し前から既に参加希望者が来られ、その後は受付で記名の為に行列になるほどの人気

ぶりです。皆、普段なかなかする事ができない工作に夢中になり、一日中会場が空く事なく満員の状態が続いていました。親子でノコギリや金槌を使い、椅子やボックスを一生懸命作っていました。慣れないもので、真っ直ぐに切れなかったり、釘を打ってもズレてしまったりそれでも必死に頑張っている様子は微笑ましいと思いました。どのように組み立てるとカタチになるか悩んでいる親子のお手伝いをするもありますが、少し手助けするとすぐにコツを掴んで、女の子でも上手に作る子もあり、子供の柔軟性にも関心しました。

また、小さい子供たちはマジックで板材に絵を書いて持ってくるのでジグソーや丸鋸等でカットの手伝いをするのですが、かなり複雑な形を書いてくれるので、こちらも必死です。カットの後は準備している飾り付けをボンドで貼り、楽しんでいる様子でした。

あっという間に時間も閉会に近づき、大きなケガもなく終了する事ができました。集計では173名もの子供たちが参加して下さいました。今後の課題も色々と見えてきましたが、来年に活かしていけるものと思います。建設業界全般に後継者問題や、成り手不足が深刻化している昨今ですがこうした活動から、モノづくりの楽しさを学び、いずれは建築の分野に進んでいく子供たちがいれば幸いです。

片付けの後は、青年部の忘年会を行いました。

小西支部長も参加して下さい、山本企画情報委員長の熱い思いもお聴きしつつ、料理やお酒を頂きながら更に親睦が深まったのではないのでしょうか。今回は担当リーダーをさせて頂きました。

皆さんご協力ありがとうございました。

最後に、この度も資材提供に協力して下さった昭和住宅様・宮宅建設様また、イベント前後も含めて協力して下さいた他団体の方々、オブザーバーの方々にも感謝致します。

次年度の活動にも、引き続きご協力宜しくお願い致します。

(青年部会副部会長 金尾 祥吾)

11月24日(日)は加古川市役所前にて若い夢フェスティバルがあり、私も午後から微力ながらお手伝いで参加させていただきました。

今年は同日に明石や姫路で大々的なイベントが行われていたためか、例年よりも会場全体の来場者数は少し落ち着いているように見受けられました。ですがそんな中にも関わらず、建築士会さんのブースには常にお客さんが来て賑わっており、ブースとして人気の高さが感じられました。

木工というと工具や材料を揃え、なおかつ音も考えると場所を選ぶものなので、普段やってみたくてもなかなか気軽にはできません。ですが、ここでは山のように積まれた木材から好きなものを選び、思う存分工具も使える点がとても魅力的だなと思いました。

今回も子ども達が目を輝かせて宝探しのように自分の使いたい材料を探し、思案しながら親や兄弟と一緒にぎこちなくも思い思いに作っている様子が印象的でした。

自由度の高い木工ができる事と、それを程よい距離で見守られている建築士会さんがいらっしゃる事で、これだけ楽しく居心地の良いブースになっているのかなと、お手伝いをしていて感じました。

この場所に来た誰もが今日を振り返った時に、楽しく充実した素敵な思い出になっているのだろうと思うと、また来年もこのブースがあるといいなと思いました。

(ボランティア 中川 朋美)



建築士会青年部研修旅行

in鳥取・島根



11月2・3日加古川支部青年部会は鳥取県へ研修旅行に行ってきました。

最初に向かったのは鳥取城跡と仁風閣です。鳥取城跡は城跡ですのでお城はありませんが、城跡に洋風の建築物が建っており、それが国の重要文化財である仁風閣です。明治40年(1907年)に建てられた仁風閣は木造2階建ての瓦葺で外観は白を基調としており目を見張るものがありました。この庭園の片隅に宝扇庵があり、和の佇まいが良い感じでありました。ただ、アルミサッシに代わっているのが残念に感じました。

昼食後は鳥取東照宮に向かいました。鳥取東照宮は樽谿(おうちだに)神社とよばれていた事も

あり、現地では樗谿と書かれている看板もありました。こちら重要文化財に指定されております。

その後、少し足を延ばし、倉吉市の打吹玉川伝統的建造物群保存地区へ向かいます。通称は白壁土蔵群。その名の通り、小川沿いに白壁の土蔵が並んでおり、いい雰囲気での通りでした。蔵の中は当時の面影を残しつつ、綺麗に改装されておりました。

この日最後は、宿泊先でもある境港マリーナホテルへ向かいます。ここは菊竹清訓の設計で、1985年に建てられました。魅力的な建築物ではありましたが、オーバーハングされた階は利用されておらず見る事が出来ませんでした。また、5階はレストランとして利用されておりましたが、手入れの行き届いていない窓が残念でした。客室からの日本海は良い眺めでしたので、食事をとりながらの日本海はより良いものになったと思われます。

2日目の最初の目的地は江島大橋。こちらは車のCMでも使われておりましたので、ご存知の方も沢山おられると思います。構造物としても立派な記録を持っており、

中央支間長は250mとなっております。近くから見た江島大橋は勾配も精々6.1%ですので、期待していた程では無かったのですが、少し離れた場所からの江島大橋は期待以上のものがありました。見に行かれる方はコンビニの駐車場から見学される事をお勧めします。

そして最終目的地は国宝松江城。黒い下見板張りの外観は姫路城等の白い外観とは違い堅牢な印象です。内部も見学させて頂きましたが、私が無知ゆえ、地階の貯蔵室（倉庫）や井戸、石落とし（外敵に石を落とす為の穴）の構造に感動しました。

あっという間に過ぎた2日間。今回の研修旅行の企画を担当させて頂いたのですが、準備も中々出来ず沢山の方にご心配とご迷惑をおかけした事と思います。また、色々アドバイス等も頂きました。とても感謝しております。個人的にはとても有意義な2日間でした。有難う御座いました。
（青年部会副部会長 杉山 和馬）



研修旅行を男9人で楽しむことができました。最初に

鳥取城に向かいました。予定にはありませんでしたが、わらべ館の駐車場に車を止めることになったのでついでに、わらべ館の独特な外観や、カーテンウォールの見学を行い、その後鳥取城の大きな外堀と仁風閣を某アニメをこっそり思い出しながら見て回りました。鳥取城の後、鳥取東照宮の見学をしました。東照宮の周囲の気持ちのいい自然と、そこに調和した重要文化財である本殿は、心とまぜると共に、細やかな細工を見学しました。次に向かった倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地域では、ソフトクリームを食べ歩きしながら町全体の白壁の街並みを散策しました。初日の最後は、ホテル境港マリーナに宿泊しました。円柱形の独特の形状の建物で、レストラン部分が展望兼用になっており、そこそこの景色を楽しみながら食事をする事もできました。

2日目午前、松江城に行ってきました。黒塗の外観は、雄々しく、内部も階段はとても急で住居性よりも、戦闘に重点を置いた設計で建設された時代背景も感じることが出来ました。

研修旅行全体として、天候にもめぐまれ、顔見知りだけということで気兼ねなく楽しい旅行になりました。

（青年部会 太秦 篤史）



今回建築士会に入会して初の1泊2日の研修旅行でした。初日、まずは鳥取仁風閣一見して感じたのは、洗浄して、ケレンして、下塗りして、...と建築物の歴史・造りより、外壁塗装をして保存状態を良くした方がと思うくらい外壁が傷んでいた、職業病というのは恐いものです。仁風閣を後に、次に向かったのは鳥取東照宮、こちらもまたなかなかの寂れ具合で京都や奈良の有名な神社仏閣のように綺麗に保たれているわけではないのですが、逆にその寂れ具合がいい雰囲気、風情ある建物でした。その後、道の駅・倉吉市の伝統的建造物保存地区を周り境港にあるホテルエリアに到着、道一本挟んで海があり、部屋からの眺めは良く要塞のような造りのホテルです。2日目はベタ踏み坂で知られる江島大橋、島根の松江城を観光し途中道の駅にて解散。このまま帰るのかと思いきや一緒の車で行っていた、松本さん

うどんを食べに行きたいなあという話になり、急遽番外編として香川うどんツアー開催、最後は、なかなかハードでしたが、うどんも美味しかったし、青年部の皆さんのまだ知らない一面も見られたので良い思い出になりました。（永田 康貴）



青年部会忘年会に参加して

11月24日（日）東加古川駅前の居酒屋で青年部会忘年会が催されました。この日は、加古川市役所前広場で若い夢フェスティバルが開催され、青年部会は恒例の親子木工教室を行いました。忘年会の前に開かれた第8回運営会議では、173名の参加者があり、盛況であったが、3名の子供が道具により軽傷を負った反省などが報告されました。忘年会には、親子木工教室の応援に来られた明石支部の山本さん、北播磨支部の吉元さん、それと3人のギャル（会員のお嬢さんたちとサポーター）も参加していただき、総勢16名の賑やかな宴会となりました。

今年も、2級製図講習、加古川楽市、若い夢フェスティバル、忘年会と、どこの支部よりも活発にそして楽しく活動していたと思います。これからも先ずやってみるの姿勢で、楽しい活動を期待しています。（支部長 小西 敏文）

2級建築士設計製図講習会

結果は…全員合格。ありがとうございました。

9月の製図本試験終了から3ヶ月12月5日午前10時 合否の発表である。

発表前日から何故か落ち着きがなくなる。本試験終了後、生徒からのエスキースが届く。それを添削すれば大凡の合否の目安となる。

今年の本試験問題は特に目新しい条件もなく又、

引っかけも無かった。うちのオリジナル問題の方が難易度は高いと感じた。エスキースをチェックしてみた感じでは、最悪合否は半々かな…と予想した。

阪口君・東田君コンビが作る問題そして厳しい添削、長尾さん・永田君の現実と試験のギャップを埋める的確なアドバイス。新入会した前野さんの丁寧な解答例。そして生徒さんの頑張り…全てがこの日に結果として顕れた。

で…松本…オマエは何をしようたんや？…わしや 熱中症と痔と尿路結石でずっとヘタってましたとさ…。（松本 有司）

新入会員の挨拶

この度、建築士会へ入会しました前野しのぶと申します。

2年前から青年部会主催の製図講習を受講し昨年、2級建築士に合格することが出来ました。エスキースが苦手で図面を描くことが嫌いでしたが、製図講習に参加して凄く好きになりました。まだ建築士としては駆け出しですが、活動のサポートに参加できればと入会を決めました。

大人数が少し苦手ですので、他の活動への参加は中々難しいですが、それでも少しずつ活動範囲を広げ、様々な方々と交流をし、沢山のことを吸収していければと思っていますのでどうぞ宜しくお願いします。（青年部会 前野 しのぶ）

ええはなしやん 第57回



「第1回職業講演会」

去る6月28日（金）県立東播工業高等学校に於いて土木科三年生を対象としたの講演会を開催しました。

この講演会は東播工高土木会（土木科同窓会組織）と加古川支部青年部会との協同開催として企画し、講師には、日展の木工部門の入選作家でもある加東市在住の工芸（木工家具）作家の岡田貴幸さんをお願い致しました。

内容は、ご自身が働き始めた頃から木工を志した切っ掛け、修業時代から独立～現在に至るまで好きなことを仕事とする上での面白味や大変さ等、体験したからこそ発せられる言葉に生徒達は真剣に聞き入っていました。途中、質疑応答の時間も設け丁寧な受け答えで対応されていました。

また当日は、日展入賞作品や椅子など数点を持ち込み展示していただき生徒達だけでなく先生方（土木科・建築科）もその作品の出来映えに感心されておりました。講演時間は1コマ（50分）だったので早々に時間が経過し、無事第一回目の

「職業講演会」も幕がおりました。

終了後に生徒達にアンケート（感想）を書いていただきました。

岡田さんは講演前にこうおっしゃいました。

「僕の云いたいことが伝わるやろかな～」岡田さんの不安は杞憂に終わったようです。

来年度も「第二回職業講演会」開催予定です。

こういう活動も少しずつ輪を広げていきたいと思います。
(松本 有司)

編集後記

毎回慌ただしく『支部だより』をまとめています
が、今回は、青年部会特集のような号になりました。
それだけ活発に活動をしているということであり、
阪口青年部会会長の下、良くまとまっているんだなあ
と感じています。

本来なら、新年のあいさつは、毎年支部長のあいさつから始まっていたのですが、小西支部長には複数の記事をいただきましたので、支部長指名で、広報委員会担当の吉備副支部長が代わって、新年のあいさつを書いて頂くことになりました。

“ええはなしやん”も57回となりました。今回は、松本様から頂いた記事が“ええはなしやん”と読んでいて感じたので、勝手に“ええはなしやん”として、載せさせていただきました。

会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思いますので、情報をぜひお寄せください。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

事業名	参加者氏名	連絡先電話	非会員 表記欄
新 春 ボーリング大会	氏名	電話	
新 年 会	氏名	電話	
県指定文化財斑鳩寺 庫裏保存修理工事 見 学 会	氏名	電話	

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

